

神戸大学医学部附属病院

病理診断科

指導担当医（役職）

神澤 真紀（講師）

実習概要

実習コース

2週間コース

概要

「病理診断の過程を学ぶ」「担当教員の専門領域について発展的な学習をする」ことを目標にします。病理診断科は他科と異なり、担当患者さんを診察する、という実習ではありません。臓器横断的に行われる病理診断について、より实际的に学ぶ機会を提供したいと思います。

実習スケジュール

1. 期間中、1人1症例について切り出しから病理組織診断書作成までを行う。ワード形式で診断書を作成し、それをレポートとする。
2. 曜日ごとに日替わりで教員が実習を担当する
3. 毎日11時（金曜日は10時）から行われる部内カンファレンス（診断困難、教育例を共有する場）への参加は必須。
4. 実習時間は基本的に10時から12時。他科とのカンファレンスの多くはその時間外に設定されている。それらに参加希望の場合は適宜案内する
5. 病理解剖が入った際にはその見学も行う
6. 希望があれば技師指導の下、薄切実習を行う（2週間のうち1回、15時より）
7. 自分が希望する臓器・領域を重点的に学ぶことも可能（*ただし、神経変性疾患、骨髄スミア像、小児疾患については症例が十分でなく、対応が難しい）

学生へのメッセージ

病理は3年生の時以来、久しぶりという方が多いと思います。苦手を克服したい、興味を持ったのでさらに勉強したい、どちらの希望にも添えると思います。病理診断は「この組織像ならこの診断」という一対一対応のイメージがあるかもしれませんが、試験対策ならそれで十分ですが、実際の病理診断は決してそう単純ではありません。臨床的、組織学的な背景を踏まえて、診療に役立つ病理診断を提供できるよう、我々病理医は日々診断しています。実際の病理医の仕事、カンファレンスの様子から、日々変化を続ける病理診断を学んでもらえればと思います。臓器は多岐にわたりますが、集中的に1つの臓器を学ぶこともできます。希望があれば事前に教えて下さい。できる限り対応いたします。